

認知症ってなあに？

町では町内の小中学校や地域で、「認知症サポーター養成講座」を行っています。町には地域で暮らす認知症の方やその家族を応援する「認知症サポーター」が約3,400人います。

10月25日、黒田原小学校で5年生を対象に講座が開かれ、児童たちは講師「キャラバンメイト」から認知症の症状や認知症の方との接し方を学びました。5年1組の渋谷将磨さんは「講座を受けて、認知症の方に優しく接したいと思いました」と振り返りました。



劇を演じて認知症の方との接し方を伝えました。

シルバーの日にボランティア活動

シルバー人材センターは毎年シルバーの日にボランティア活動を実施しています。10月20日、会員約70人が参加し、文化センター、スポーツセンター周辺の草取り、草刈、剪定を行いました。会員の皆さんありがとうございました。



ありがとう那須小



3月末で閉校する那須小学校で11月15日、閉校記念行事が行われ、児童や保護者、地域の方約100人が参加しました。

記念講話では、同校出身の医師で宮沢賢治の主治医を務めた佐藤隆房の生涯について紹介があり、講師の「栃木・宮沢賢治の会」代表の栗原俊明氏は児童らに「佐藤先輩を誇りに、社会に貢献できるよう頑張ってください」と話しました。

イベントでは、「思い出」を題に児童らが詠んだ俳句と同校の歴史を放映。また、児童らが同校オリジナルの音頭「NASU OND」を踊り、感謝を伝えました。そのあと、参加者全員でキャンドルサービスと校歌を斉唱し閉校を惜しみました。

秋のおまつり



来春、黒田原小学校に入学する子どもたちが装束を身に付け黒田原地内を練り歩きました。(11/3 黒田原神社例大祭 稚児行列)



特別展「能の世界」の展示を愛でながら、町文化協会茶道部によってお茶が振舞われました。(11/11 那須歴史探訪館)



奥州道芦野まつりを開催。地元の野菜をふんだんに使った豚汁に心も体も温まりました。(11/11 遊行庵直売所)



元気な掛け声に行列ができました。収穫大感謝祭でも、つきたてお餅は大人気でした。(11/11 道の駅東山道伊王野)